

Report

議員活動のご報告

4/14 第7回ぐるっとまつばら健康ウォーク



約6kmの歴史探索コースを巡り松原の魅力再発見!

4/22 商工会議所新入社員激励会



松原市内の事業所19社に85名の方が就職され、新たなスタートを!

4/25 松原防犯協議会総会



日々、犯罪・事故の予防活動に多大なご尽力頂き感謝申し上げます。

4/26 人権啓発推進協議会総会



人権意識の向上と明るい社会の実現に向けより一層のお力添えをお願い致します。

5/11 松原交通安全市民大会



皆が声を掛けあい、悲惨な事故を起こさないまちづくりを!!

5/12 松原市小学校連合運動会



松原市立小学校15校の5年生936人が一堂に会しての運動会を開催。

5/13 全国交通安全運動



河内天美駅前において春の全国交通安全運動駅前キャンペーンを実施。

5/17 老人クラブ連合会総会



松原市を支えている元希者クラブ会員の皆様いつもありがとうございます。

5/17 第53回松原市火災予防協議会総会



日頃から市民生活に密着した消防行政の推進にご尽力頂き、感謝申し上げます。

5/19 まつのみ福祉会法人設立20周年記念式典



設立20周年の佳節を機に、今後益々のご発展をお祈り致します。

5/21 松原市民生委員児童委員協議会総会



市民のよき相談者として、住民福祉の向上に益々のご尽力・ご協力をお願い申し上げます。

5/23 松原市元希者の集い



令和元年第1回目の開催、大いに笑って健康寿命延伸を!

5/30 松原市婦人防火クラブ連合会



日々、松原市民の安心安全を守って頂き感謝申し上げます。

5/31 松原市シルバー人材センター定時総会



地域に根差した幅広い活動で、住みよい松原構築にお力添えを!

6/1 ねっとまつばらフェスタ2019



つながる!支える!地域でともに!障がい者就労支援の橋渡しフェスタ開催!!

6/10 松原市緑化協会通常総会



日頃から駅前はじめ、緑豊かな町づくりにご尽力賜り、感謝申し上げます。

6/12 文部科学省へ



浮島文部科学副大臣のもとへ澤井市長と表敬訪問。

6/14 元希者クラブの集い



松原市文化会館で「第39回元希者クラブの集い」開催。スポットライトを浴びて皆さん、元気いっぱい!!

6/15 土地区画整理組合解散記念式典



天美東土地区画整理解散記念式典に出席。来年秋のまち開きが楽しみです。

6/16 スポーツ振興協議会交流グラウンド・ゴルフ大会



第8回目となる交流グラウンド・ゴルフ大会。親睦と交流を図り、有意義な1日に!

7/21 松原市子ども会連合会ソフトボール大会



開会式に参加、人生初の始球式!(ストライク!!)

8/2 緑と花のポスターコンクール



松原市役所1階ロビーに展示。議長賞の授与をさせていただきました。

8/8 松原市民図書館ボランティアの会



来年1月26日の新図書館オープン前に図書館ボランティアの会が新たに発足!



公明党 松原市議会議員 ● 三重松 清子

第49号
2019年
冬号

まわり通信

発行責任者:三重松 清子 (後援会)
〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX(072)333-1478



みなさま、こんにちは! 三重松 清子です。

みなさま、いかがお過ごしでしょうか? 1年の中でも最も過ごしやすい季節になりましたが“あつ”という間に寒くなりそうです。どうぞご自愛ください。

さて、改選から1年が過ぎ、2年目へと突入しました。昨年は、議長の大任を押し、先輩議員の勇退と新人議員5名を迎えての新たなスタートであり、投開票日の2日後には、台風が大阪を直撃するなど今までにない経験からの出発でした。議会として災害時にどう対応すべきか、議会として取り組むべき課題等々議員の皆様と議論をさせて頂き、今も議論を継続しています。この一年は議長として、沢山の方々にお力添え、ご協力を頂き、大任を全うすることが出来ました。心より感謝申し上げます。

市長と共に議会の代表として、諸行事に参加させて頂くたび、多くの市民の方々にお会いし、また、市政全般において陰で支えて下さっている市民の皆様を目の当たりにしました。市民の皆さまの姿を通して、“わがまち松原”のすばらしさを改めて感じる事が出来ました。この経験を活かし、議員としてしっかり仕事をさせて頂くことで市民の皆さまに恩返しをして参ります。これからもよろしくお願いたします。



安心・安全の街づくりの推進

要望が
実現
しました!

▼柴垣2丁目 路面表示



▼イズミヤ裏道路改修



▼新堂2丁目 道路改修



▼「子育て世代包括支援センター」の開設

妊娠から出産、子育てと継続して相談出来る体制整備が出来ました。(4月から市役所2階地域保健課前)



▼西大塚2丁目 通学路 20キロ制限 路面表示



西野々2丁目 路面表示

上田8丁目 路面表示

【令和元年 第2回 定例会】

個人質問

令和元年9月

1 子育て世代包括支援について

本年4月スタートの子育て世代包括支援センターの現況について

問 子育て世代包括支援事業についてどのように取り組んでいるのか？

答 妊産婦や乳幼児等の状況を継続的、包括的に把握し、妊娠期から出産期、子育て期まで切れ目のない支援を行うことにより母子の健全育成につなげている。妊娠届け出時には保健師や助産師等が面談し、出産に対する不安感を軽減するよう相談やアドバイスをを行い、必要な方には支援プランを作成し、電話や訪問等により継続した支援を行っている。

問 産後ケア事業の現状について？

答 阪南中央病院で、退院後4カ月までの間、育児に不安があったり家庭環境で支援される方がいない方を対象にデイケアサービスとして実施。時間は、10時から19時の間の9時間(母子で食事付)助産師による心身のケアや育児のサポートを行っている。

※1回の利用料は母子で2,700円(多胎の場合も同一料金)

問 宿泊での産後ケアについては？

答 宿泊型については、大阪府内でも実施している。今後、調査し、利用者のニーズを把握しながら調査研究していきたい。

要望 ○ファミリーサポートの対象児の月齢を下げる。
○産後ヘルパー導入の検討を

今後の方向性について

問 現在子育てについては、子育て世代包括支援センターは地域保健課(健康部)と子ども未来室(福祉部)の2部にまたがっている。今後、体制を考えるべきでは？

答 4月から子育て世代包括支援センターを設置したところ、開設後、課題等の検証も必要。今後の運営については、検証を見きわめた中で、研究もしていきたい。



2 防災対策について

近年、地震に豪雨と激甚災害が頻発している。いつ起こるかわからない災害に対して、防災・減災の立場から防災対策の現状について

① 自主防災組織について

問 本市において町会や自治会加入世帯が減少する中、町会や自治会を単位とした自主防災組織の現状について

答 平成30年度において261町会(町会加入率は、64.3%毎年1%ずつ低くなっている。)自主防災組織は、24団体で97町会が加入している。ここ数年、自主防災組織の数が増加してきた。



問 災害対策の取組みと地域防災計画の推進について

答 災害に備えた日々の活動として、防災資機材の維持管理や防災訓練を実施し、地域住民と顔の見える関係づくりを進めている。また現在、災害時の自助・共助の促進につながる地区防災計画の策定に取り組んでいる地域もある。

※本市の取組み

- 地域の自主防災組織の立ち上げや運営に対する支援
- 防災士の資格を有する地域防災の担い手である松原防災士会と連携し、避難所運営訓練を実施
- 地区防災計画策定の機運を上げるための研修会を企画運営

問 松原市防災会議の開催状況について

答 防災会議については2年、3年開催していないが3月の防災総合訓練時に参加頂き、可能な限り顔の見える関係を構築していきたい。

問 防災士資格取得後のスキルアップについて

答 今後の活動を通して、検討していく。

要望 危機管理課に女性職員の配置を

問 千葉での台風の後、停電が長引き、通電後に2次災害の火災が発生した。本市は感震ブレーカーの設置について補助をしている。通電火災について問う。

答 台風による通電火災の予防対策については、停電時にはブレーカーを落とす事が重要。また、復旧時を考え、電気機器のスイッチ、また、電気機器をコンセントから抜いておく事が重要。電気の復旧時には、電気機器の水濡れや破損等の有無を確認した上で電気機器を使用するなど注意が必要。

② 防災教育について

問 災害対策の基本にある自助、共助、公助。中でも重要となるのは、自らが対策に取り組む自助。そして、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む共助の意識を共有することが重要。また幼い頃からの防災教育は重要。学校現場での取組みについて

答 防災教育について、中学校では、全校が被災地の訪問や被災者からの聞き取りに取り組んでいる。中学校にお

いては、神戸の人と防災未来センターに訪問し、そこで被災者からの聞き取りをしている。小学校においても、阿倍野防災センターに出かけている学校もある。また理科や社会の学習で阪神淡路大震災、あるいは東北の震災について全校で学習をしている。

問 学校現場で防災士による学習は、可能か？

答 防災教育として、様々な出前事業等にも取り組んでいるので防災士の方がどのように学校での取組みをして頂くか関係部署と協議し、検討する。

要望 災害伝言ダイヤルについて活用を(毎月1日と15日、防災とボランティア週間の1月15日から21日に体験利用が可能)

③ 大阪府や近隣市との防災対策の連携について

問 現状について

答 大規模災害に備え、近隣市町村間において人的・物的応援を相互に行えるよう、平成23年9月に災害時相互応援協定を締結。定期的に開催される会議において各自治体間で抱える防災対策に関する課題を共有し、課題解決に向けた取り組みを行っている。

要望 広域で見えていくことも非常に大事、近隣との連携も大事にしながら、しっかりと対策を



ご存知ですか？

おじいちゃん、おばあちゃんの振り込め詐欺対策に！

悪質な勧誘電話を自動録音
通話録音装置を無料で貸し出します！

着信時に犯罪行為を抑止する音声流れ、通話を自動録音する装置です。警告音声と自動通話録音による被害防止が期待できます。

装置設置後のアンケート調査に回答できる人
①高齢者単身世帯②高齢夫婦のみの世帯
③日中高齢者のみとなる世帯



着信前にアナウンスを流し、振り込め詐欺を抑止！

※数に限りがあります。

詳しくは…
産業振興課
☎337-3112

それでも電話がかかってきた場合、すべての会話を録音します！

3 西大塚地域のまちづくりについて

平成19年から西大塚地域のまちづくりについて質問をしてきたが平成28年3月に新堂南線も開通し、3年が経過。その後のまちづくりの進捗状況は？

(1) 新堂南線開通後の進捗状況について

問 施設の現在の利用状況は？

答 平成28年の新堂南線開通により西大塚地域の防災性や交通の利便性が向上。平成22年から26年までの平均の利用者が約5万6千人であったところ、昨年の利用者は、テニスコートとグラウンド、すべての合計では、約8万4千人の利用があった。開通に伴い、利用者の数は増加している。

問 施設活用についての市民アンケート結果について

答 アンケート結果、まず、利用の目的は、テニスが最も多く、次いで野球やソフトボールであった。今後どのようなものを望むかとの質問では、ウォーキングコースや休憩施設の設置など。加えて施設の更新を望む意見もあった。

要望 ○テニスコートについては、4面以上の整備を
○早急に市民ニーズを考慮した施設の更新を

(2) 大塚運動広場駐車場について

問 地域から要望が出ている大塚運動広場駐車場についての活用の考えは？

答 地域の状況を踏まえた利用方法など、管理運営も含め検証を進めていく。



感震ブレーカーの設置に補助金実施！

感震ブレーカーは震度5強以上の揺れをセンサーが感知し、自動的にブレーカーが遮断する装置です。



大地震発生!!

感震ブレーカーの種類

種類	分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
補助率	4分の3	4分の3	4分の3
限度額	45,000円	4,500円	3,000円

設置の補助率及び限度額

大地震後、電気が復旧した時に通電火災が多数発生します。その予防には感震ブレーカーが有効です。電気屋、工事業者等へ見積書等を依し、申請書を記入し、必要書類を添付して危機管理課へ提出してください。審査後認められた場合、補助金が受けられます。

※補助の対象者に制限があります。

詳しくは…危機管理課 ☎337-3151